



活発な地域活動に感謝

学会長 桐 村 晋 次

各地の立ち上がりが学会を励ましてくれています。地域別のご案内がいない他の地域や遠隔地からの参加もお待ちしています。このニュースに接して、一度退会した人が地方で学習会が開かれるのなら復活したいと申し込んできたり、地方で開催されて嬉しいと言うメッセージが事務局にとどいています。ここまでこぎつけた各地の幹事の御努力に、心から感謝しております。

地域学習会は、次のようなルールで運営されることが重要です。

1. 各地域の独自性を尊重します。
2. そのために、リーダー（幹事）には、人権尊重と人間平等の理念を大切にすることが望まれます。セクハラ、パワハラ、学会の場を学会の場を金儲けに利用しようとする人を選ばないように、各地域の自浄能力が期待されます。
3. 地域学習会の基盤が整うまでの間、地域学習会幹事と学会事務局の相談に基づき、年1回程度は費用を学会本部で負担して講師を派遣します。ご相談ください。
4. 近畿、中部、北陸地区は、その年度の企画情報を交換し、お互いに学習会等に参加できるよう工夫してください。九州と今後設立予定の中国、四国も同様に連携することが期待されます。このブロック交流制度により、東京まで来なくても年に数回は学習会に参加できるようになります。
5. 地域学習会は、学習会幹事のコーディネートにより、会員の研究発表、シンポジウム、ケース研究、懇親会を適宜開催することができます。全員ボランティアなので、幹事に要望するだけでなく、負担を分け合ってください。

産業カウンセリングは職場の元気！

各地の元気を全国に！！

日本産業カウンセリング学会近畿支部 2010 年度 総会・研修会
若者の「生き生き」支援 – これからの実践テーマ –

近畿支部長・第15回大会準備委員長 追手門学院大学 三川俊樹

近畿支部では、来る7月11日(日)13:30～「新大阪丸ビル新館」を会場に、2010年度第1回研修会・総会を開催します。今回の研修会は「若者の『生き生き』支援－これからの実践テーマ」と題し、若者が生き生きと生きることができるように、産業カウンセラー・キャリアコンサルタント・臨床心理士などとして、若者のキャリア支援に全力で取り組んでいる若手の実践家の皆さんに、これからの抱負や展望、希望や期待を大いに語っていただくとともに、お互いにエンパワメントしあえるセッションになるようにと企画しました。

また、日本産業カウンセリング学会第15回大会が、9月18日(土)～20日(月・祝)に、追手門学院大学(大阪・茨木市)と、「追手門学院・大阪城スクエア」および「大阪大学・中之島センター」(大阪市内)を会場に開催されます。近畿支部がその準備と運営を担当いたします。すでにお届けいたしました「第2号通信」にご案内の通り、18日(土)～19日(日)には、記念講演・個人研究発表・シンポジウム、総会・懇親会、20日(月・祝)には研修会が行われます。実りある大会となりますよう、皆様のお越しを心からお待ちいたしております。

日本産業カウンセリング学会近畿支部

2010 年度 総会・研修会

日時：7月11日(日)13:30～17:30

場所：新大阪丸ビル 新館602号室

*受付：13:00～

*総会：13:30～14:00

*研修会：14:00～17:30

*懇親会：17:45～19:30

研修会 参加費：3000円

懇親会 参加費：3000円

(申し込み後の辞退はご遠慮ください)

〈スピーカー〉

橋本俊作さん(産業カウンセラー、キャリアコンサルタント、CDA)

平田綾子さん(産業カウンセラー、キャリアコンサルタント)

笠谷光さん(臨床心理士)

松本圭さん(臨床心理士、産業カウンセラー、キャリアコンサルタント)

〈コーディネーター〉

三川俊樹(近畿支部 支部長)

〈サポーター〉

川上範夫(近畿支部 副支部長)

遠藤瑞江(近畿支部 副支部長)

参加申し込み要領

• 下記の必要事項をご記入の上、追手門学院大学(FAX 072-641-9672)まで、お送りください。

お名前(ふりがな)・ご所属名・自宅か職場のご連絡先(郵便番号・住所・電話番号・FAX番号)

• ご参加希望の会名をご記入ください

1. 総会 2. 研修会 3. 懇親会

• 先着順に(研修会は80名、懇親会は30名まで)お申し込みを受け付けます。

• 定員に達した時点で受付を終了させていただきますので、ご了解ください。

• 受付終了後に、受付証を郵送でお送りします。受付証は当日ご持参ください。

• 参加費および懇親会費は、当日に会場受付にてお支払いください。

お問い合わせ 電話：072-641-9570

(追手門学院大学 三川俊樹研究室)

FAX：072-641-9672

お問い合わせは、なるべくFAXにてお願いいたします。

各地で続々と学習会立上げ

北陸、九州、中部地区で学習会が続々と開催されます。

いずれも事前の申し込みが必要で、参加費は学会員無料、非会員 3000 円となっています。

お申し込みお問い合わせは、参加地区名と会員非会員の別を明記して、氏名、所属、住所、連絡先電話、メールアドレスを記入して下記までお願いします。

TEL & FAX : 0 3 - 5 2 2 8 - 4 4 1 8

e-mail : info@jaic.jp

または学会ホームページを参照してください。
<http://www.jaic.jp/cgi-bin/topics2/topics.cgi?page=0>

1. 北陸地区学習会 (第 1 回)

日時：平成 22 年 7 月 19 日 (月) 13:15 ~ 17:00

13:00 開場 13:15 開会 16:25 閉会

16:30 ~ 17:00 茶話会 (自由参加)

場所：石川県地場産業振興センター新館
第 12 会議室

石川県金沢市鞍月 2 丁目 1 番地

TEL (076) 268-2010

テーマおよび講師

- 「企業におけるメンタルヘルスのあり方」
山本 克英氏 (学会理事 メンタルサポートオフィス・アカベ代表)
- 「生涯発達とキャリア形成支援」
宮城まり子氏 (学会副会長 法政大学キャリアデザイン学部教授)

定員：100 名

〈問い合わせ先〉

(福井) 泉 康秀 : ya-izumi@fd5.so-net.ne.jp

(富山) 川合 紀子 : kawai@step-up.net.jp

(石川) 吉野ゆかり : ypcs@siren.ocn.ne.jp

TEL : 090-1316-5577

2. 九州地区学習会 (第 1 回)

日時：平成 22 年 7 月 24 日 (土) 13:20 ~ 16:25

13:00 開場 13:20 開会 16:25 閉会

16:30 ~ 17:00 名刺交換会 (自由参加)

場所：独立行政法人 雇用・能力開発機構

福岡センター 7F 大会議室

福岡市博多区冷泉町 5-32 オーシャン博多ビル 7F

テーマおよび講師

- 「これからのキャリア・コンサルタントに求められるもの」

～働く人のための「厚みと広がり」を持った

キャリア・コンサルティングのために～

木村 周氏 (学会名誉会長)

※キャリア・コンサルタントの養成プログラムを立ち上げてこられました。

- 「キャリア教育の現状とこれから」

～スーパーの理論に学ぶこと～

三川 俊樹氏 (追手門学院大学心理学部教授、学会常任理事)

※コロンビア大学名誉教授のドナルド・E・スーパー氏に直接教えを受け、大学で指導にあたられています。

定員：65 名

〈学習会幹事〉

徳永 拓己、白濱 文子、佐々木 裕子

3. 中部地区セミナー (第 3 回)

日時：2010 年 8 月 1 日 (日) 13:30 ~ 17:00

(受付：13:00 ~)

場所：名城大学名駅サテライト

名古屋市中村区名駅 3 - 26 - 8

名古屋駅前 S I A ビル 13 階

テーマおよび講師

第 1 部 講演 13:30 ~ 15:00

「これからのキャリア・コンサルタントに求められるもの」

～働く人のために「厚みと広がり」をもったキャリア・コンサルティングのために～

講師：木村 周氏 (学会名誉会長)

第 2 部 講演 15:30 ~ 17:00

「スーパービジョンで学び続けるということ」

～バイザーとして、スーパーバイザー養成講座の体験から～
講師：小松原 智子氏（名古屋大学大学院 心理学講座）

定員：70名
日本産業カウンセリング学会中部地区セミナー準備委員会

第 87 回常任理事会 議事録

日時 平成 22 年 3 月 28 日（金）18：30～21：30

場所 飯田橋ハイタウン会議室

出席者 桐村晋次、楡木満生、宮城まり子、
上脇貴、川上範夫、今野能志、堤貞夫、
廣川進、古山善一、三川俊樹、杉忠重、
渡邊祐子

欠席者 奥津眞里、平木典子、森田一寿

1. 審議事項

（1）入会希望者・退会届について

入会希望者 36 人全員の入会が承認された。また、13 人の退会届を受理したことが報告された。なお、入会申込に基づき審議を行ったが、申込書に職務内容の記載のない入会希望者は事務局にて確認することとなった。

（2）SV 養成講座の日程と募集要項について

- ・スーパーバイザー養成委員長より「H22 年度養成講座の募集要項」について説明がなされ、承認された。
- ・スーパーバイザーの資格認定方法、要件等に関する質疑が行われたが、次回常任理事会であらためて審議されることとなった。

（3）第 15 回大会について

・第 15 回大会準備委員長より準備委員会での協議内容が報告され、大会プログラム案が承認された。

（4）支部設立および支部役員選任の考え方、地域単位での勉強会の開催について

・事務局長より 2 月 14 日に開催された中部地区セミナーの実施状況が報告された。併せて会長から、支部設立についての考え方が次のように示され、承認された。「地域への貢献とサービスの充実を図ることを最優先課題とし、質の高い勉強会の継続によって実績

が認められた地域に支部を設立する。」

（5）その他

- ・特になし。

2. 報告事項

（1）委員会報告

- ・スーパーバイザー養成委員会

養成講座の説明会を 5 月 29 日に東京と大阪にて開催することが報告された。

- ・研究委員会

21 年度第 3 回シンポジウム開催案、22 年度活動方針とシンポジウムの開催計画、および、会員アンケートの実施の件が報告された。

- ・広報委員会

ニューズレターの基本的な構成方針と 22 年度各号の企画案、および記者懇談会の開催構想が報告された。

- ・社会活動委員会

第 3 回会合（2 月 18 日）の開催内容と、H22 年度活動計画が報告された。

- ・倫理委員会

研究倫理に関するアンケート実施の概要が報告された。

- ・地域活性化委員会

中部地区等での活動内容が報告された。

- ・近畿支部および研修委員会

近畿支部と研修委員会の共同による研修会開催の件について報告された。

（2）その他

- ①第 87 回常任理事会開催予定は、H22 年 5 月 28 日（金）18 時 30 分～

委員会だより

研 究 委 員 会

委員長 廣 川 進

●活動方針

- 現場に役立つ実践的研究を模索し試行していく。
- 年間の研究テーマを設定して通年で深めていく。
- 年間シンポジウムの日時とテーマを定めて、会員向け告知をまとめて早期に行い、参加者を増やす。
- 実践研究モデル（量的・質的研究、事例研究などのモデル研究の提示や研修会など会員の研究支援に着手する。

A) シンポジウム

年間テーマ「多様化する現代の〈うつ〉とどう関わるか」

1) 6月19日(土) 東京・大正大学

神庭重信(かんばしげのぶ)先生特別講演

「うつ病の分類-診断と対応」

九州大学医学研究院精神病態医学分野教授
うつ病学会双極性委員会委員長
100人を超える盛況となりました。

2) 9月19日(日) 学会シンポ 13:00~15:00

場所: 追手門学院大学 茨木キャンパス

「多様化する〈うつ〉とどう関わるか~新しい〈うつ〉について語る」

シンポジスト:

精神科医 岡田邦夫 大阪ガス 人事部健康
開発センター統括産業医

カウンセラー 豊田直子 (株)ホリスティックコミュニケーション代表取締役、臨床心理士、CDAコーチ

キャリア・カウンセラー: 大野英一 カウンセリング・研修オフィス にじの橋代表、臨床心理士、キャリア・コンサルタント

コーディネーター: 平川完 (財団法人 関西カウンセリングセンター)

3) 学会自主シンポ

「現場に役立つ実践的な研究を考える」

担当: 五十嵐敦(福島大) 廣川進(大正大)

現場の実践を研究、論文につなぐヒント手引き
量的と質的研究のヒント 事例研究、KJ法、
グラウンデッドセオリー

4) 11月(東京 大正大学)

事例研究会「新しいうつのケースについて」有効なアプローチを探る
ひとつのケースについてじっくりやる。
2ケースに3時間くらいかける。

5) 3月(名古屋を予定)

事例研究会「新しいうつのケースについて」復職に際しての環境調整等
ひとつのケースについてじっくりやる。
2ケースに3時間くらいかける。

研 修 委 員 会

委員長 今 野 能 志

研修委員会 2010 年度活動計画

今年度は倫理、快適職場づくり、若者支援、課題解決アプローチというテーマでの研修会を以下のように予定しています。

10年5月22日 東京研修会: 「カウンセリング倫理」水野修次郎先生(延期)

7月11日 近畿支部研修会: 「若者自立支援」(近畿支部主催の研修会です)

(9月20日に第15回大会研修会があります)

10月23日 福島研修会: 「最近の職場状況と課題解決アプローチ」

午前: 「職場の人材マネジメントとメンタルヘルス」五十嵐敦先生

午後: 「職場と家族: 理想としてのポジティブスピルオーバー!」

長谷川啓三先生

11月23日 東京研修会: 「快適職場作り」

木村周先生、古山善一先生

12月19日 東京研修会：「カウンセリ
ングにおける倫理」水野修次郎先生
11年2月（開催日は未定）近畿支部と研修委
員の協働研修会
2011年については、5月に東京もしくは名古

屋での研修会、7月に近畿支部主催の研修会が
開催される予定です。

なお、今年度より学生の参加費を¥2,000と
することになりました。社会人学生は適用され
ません。

社会活動委員会

委員長 堤 貞 夫

第4回会合を5月18日（木）法政大学会議室
で実施。

今回は、やや高い視点からの情報提供、意見
の提示をしていただいた。出席者17名。

・富士ゼロックス 総合教育研究所

大脇 正紀氏

「あたりまえのマネジメントによる、個と組
織の活性化」

・JFE スチール 安全衛生部

高橋 信雄氏

「職場の変化とメンタルヘルスケア～課題と
対応の視点～」

非常に重要な視点からの指摘、新たな情報が
得られたと感じている。

参加者からの活発な質問、意見があり、現在
の状況や問題の切り口が明らかになった。

大脇氏：当たり前のマネジメントが出来なくなった。

ミドルマネジャーの疲弊が組織の活性化
を阻害。事業目標を人材育成とシンクロ

化させることが長の役割。経営に対する
提言、メンタルヘルス対策はリスクマネジ
メントであること。モチベーション向上
による活性化、マネジャーへの関わり方
の支援が必要。

高橋氏：最近、日本 EU シンポジウムに有識者と
して出席したが、メンタルに対する関心
が、極めて高くなっており、日本の経験・
対応に質問が集中した。経団連でも職
場復帰率、休業度数率への影響・対策
を最重要課題としている。情報の共有、
現場から具体的、実践的な情報を学会・
研究者に伝えてほしい。日本が現在経験
していることは、世界的にも進んだ問題
であることが分かった今後の対応の進め
方に大きなヒントが得られたので、秋以
降、具体的なテーマの深耕を行って、提
言に近づけるよう、年度内に検討を進め
たい。

新入会・退会状況

平成22年5月28日

入会者

白川 智絵	木原 徹	熊崎 信康
畑 登代子	高橋 哲郎	間所 敦
窪田 光延	齋藤 詔一	浅岡 彩子
渡辺 高伸	岡村 慎一	安田 耕三
松本茂之介	土門 直子	原田 篤
佐々木裕子	嶋谷 昌美	木村 和夫
土屋 明子	菅原 久美	亀田 光弘
香川 清	森 孝	森永 憲彦
長井 義政	白濱 文子	

退会者

中村 新三	森山 正克	山田 智子
平松安利早	田邊 稔	大櫛 重光
山野 久恵	中田 悌夫	長山 永寿

西田 健一	嘉部 和夫	宮内 真一
高原 龍二	黒澤 和美	甲斐 陽子
水木 寿	武藤 幸枝	青山 啓子
中野 健三	有賀 裕司	石毛 利枝
加藤 起運	杉本 充章	関野 伸一
尼子 洋	荒川 和夫	高橋 寛
國分 康孝	高田美智子	矢澤 佑介
國分 久子	佐原 史枝	田中昌一郎
松原 正	川口 義彦	大平このみ
牧野 博昌	酒匂 志野	阪本美和香
白波瀬 勉	御船 節	
荒木富美子	川船 眞義	
春山富美子	森山 正克	
杵淵 友子	坂本 洋子	
小倉 克夫	阿部 秀雄	